

国語①	今週の学習	カンジー博士の漢字しりとり(教科書P106、107)、前期の復習	できたら チェック	
	今週の宿題	●音読(テストはんいの好きなページ) ●前期期末テストの勉強		
	来週の学習	前期期末テスト		
国語②	今週の学習	4年生の新出漢字(輪・特・各・周・種・季)→漢字テストは9/19に行います	できたら チェック	
	今週の宿題	「漢字の学習」の終わらなかったところ、漢字プリント1まい		
	来週の学習	前期期末テスト		
算数	今週の学習	わり算の筆算を考えよう(教科書P106~112)	できたら チェック	
	今週の宿題	算数ドリル 44~49		
	来週の学習	前期期末テスト		
理科 (選択)	今週の学習	期末テストはんいの復習	できたら チェック	
	今週の宿題	期末テストはんいの勉強		
	来週の学習	前期期末テスト		
社会 (選択)	今週の学習	教科書(3・4年下) p58~61	できたら チェック	
	今週の宿題	期末テストのはんいの勉強、ドリルの王様P17、18(㊟ごみのゆくえ)		
	来週の学習	前期期末テスト		
お知らせ		<ul style="list-style-type: none"> ・9月12日は前期期末テストが行われます。時間割が一部入れ替わります。 ・先週配布しました学年通信でテスト範囲をご確認ください。 		
音読の宿題		おうちの人に聞いてもらって、読み終わったら書いてもらいましょう。1日1回を目標に! 今週は期末テストのはんいの中から、好きなページを音読しましょう。		
読んだところ		回数	最高!!㊟ いいね!○ がんばろう△ 声の大きさ 読むはやさ 気持ち	おうちの人の サイン
土				
日				
月				
火				
水				
木				
金				

西大和学園補習校四年
漢字テストはんい

14	9月5日 配布	9月19日 テスト
①	いちりん はな	一輪の花
②	とくべつ いみ	特別な意味
③	にほん かくち	日本各地
④	みずうみ まわり	湖の周り
⑤	たね か	種を買う
⑥	かっこく ひと	各国の人
⑦	わな	輪投げをする
⑧	せかい いっしゅう	世界一周
⑨	さかな しゆるい	魚の種類
⑩	にほん しき	日本の四季

西大和学園補習校四年
漢字テスト

名前	
①	いちりん の はな
②	とくべつ な いみ
③	にほん かくち
④	みずうみ の まわり
⑤	たね を かう
⑥	かっこく の ひと
⑦	わなげ を する
⑧	せかい いっしゅう
⑨	さかな の しゆるい
⑩	にほん の しき

漢字を書きましょう。一線の言葉は、漢字と送りがなで書きましょう。

① の花。 うめ

② じる。 しん

③ 業。 そつ

④ 国。 みん

⑤ 後。 さい

⑥ 会長。 かく

⑦ 火。 じん

⑧ 鼻体。 てき

⑨ 辞。 てん

⑩ 会。 し

⑪ 方。 ほう

⑫ する。 あい

⑬ 読み。 くん

⑭ 考書。 さん

⑮ 番。 じゆん

⑯ 夜。 ざく

⑰ 内。 あん

⑱ 会。 かん

⑲ 点。 よう

⑳ 大。 りく

㉑ 予。 こく

㉒ 出する。 せき

㉓ 実室。 けん

㉔ 記。 ろく

㉕ 北。 きよく

㉖ 成。 こう

㉗ 目。 ひよう

㉘ 木。 ぜい

㉙ 文。 れい

㉚ 配。 たつ

㉛ 商店。 がい

㉜ 書。 るい

㉝ 有。 がい

㉞ 通。 きよう

㉟ ノーブル。 しやう

㊱ 障。 そう

㊲ 会。 ぎ

㊳ 印。 しやう

㊴ けつ。 せい

㊵ 心をもつ。 かん

㊶ くつをえらぶ。 がい

㊷ かならず行く。 がい

㊸ 学校のあたり。 がい

㊹ 点をうしなう。 がい

㊺ 水をくわたる。 がい

㊻ あついお湯。 がい

㊼ ひもをむすぶ。 がい

㊽ 家をたてる。 がい

㊾ 使いはたす。 がい

㊿ 雪がつもる。 がい

漢字を書きましよう。 — 線の言葉は、漢字と送りがなて書きましよう。

① 梅 うめ
の花。

② 信 しん
じる。

③ 卒 そつ
業。

④ 国 こく
民。

⑤ 最 さい
後。

⑥ 副 ふく
会長。

⑦ 大臣 だいじん

⑧ 具体 ぐたい
的。

⑨ 辞 じ
典。

⑩ 司 し
会。

⑪ 方 ほう
法。

⑫ 愛 あい
する。

⑬ 訓 くん
読み。

⑭ 参 さん
考書。

⑮ 順 じゆん
番。

⑯ 昨 さく
夜。

⑰ 案 あん
内。

⑱ 完 かん
全。

⑲ 要 よう
点。

⑳ 大 だい
陸。

㉑ 子 こ
告。

㉒ 出 しゅつ
席する。

㉓ 実 じつ
験室。

㉔ 記 き
録。

㉕ 北 きた
極。

㉖ 成 せい
功。

㉗ 目 めく
標。

㉘ 材 ざい
木。

㉙ 例 れい
文。

㉚ 配 たい
達。

⑳ 商店 かんとん
街。

㉑ 書 しよ
類。

㉒ 有 ゆう
害。

㉓ 共 きよん
通。

㉔ ノーブル のーぶる
賞。

㉕ 倉 そう
庫。

㉖ 議 ぎ
会。

㉗ 印 しん
象。

㉘ 清 せい
けつ。

㉙ 関 かん
心をもち。

㉚ 選 せん
ぶ。

㉛ 必 ひつ
ず。

㉜ 辺 へん
り。

㉝ 失 しつ
う。

㉞ 加 か
える。

㉟ 熱 ねつ
い。

㊱ 結 むす
ぶ。

㊲ 建 た
てる。

㊳ 果 は
たす。

㊴ 積 た
もる。

4

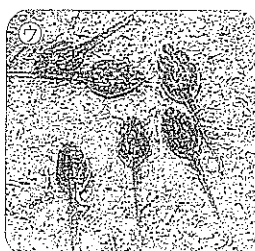
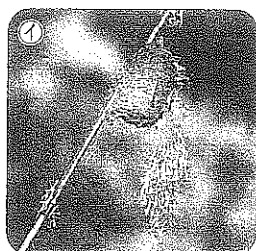
1 春の自然

名前

100点

1 下の図の㉑～㉕は、春に見られる生き物です。これを見て、次の問いに答えよう。

40点(1つ8点)



(1) ㉑～㉕の生き物の名前を、下の から選んで、番号で答えよう。

㉑() ㉒() ㉓() ㉔()

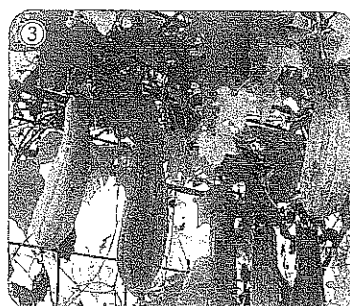
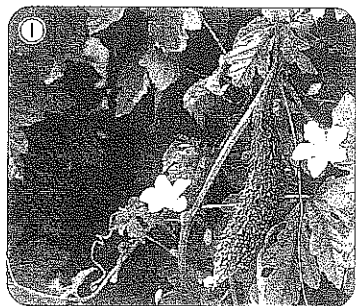
- | | | |
|-----------|---------|----------|
| ①ナナホシテントウ | ②オオカマキリ | ③おたまじゃくし |
| ④ヒヨドリ | ⑤ツバメ | ⑥クロオオアリ |

(2) ㉔の親鳥は、何をしているのかな。

()

2 下の図の①～③は、ヘチマ、ヒョウタン、ツルレイシのどれかの植物です。これを見て、次の問いに答えよう。

60点(1つ10点)

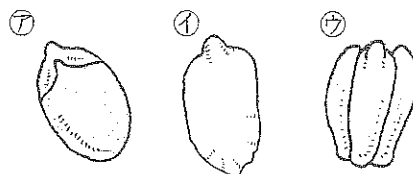


(1) ①～③の植物の名前をかこう。

① ② ③

(2) ①～③の植物のたねは、右の図の㉑～㉓のそれぞれどれかな。記号で答えよう。

①() ②() ③()



1 気温のはかり方について説明している文で、()にあてはまる言葉を答えよう。

40点(1つ20点)

- (1) 気温は、地面から1.2~1.5mの高さで、()のよい日かげではかる。
- (2) 温度計に、()がちょくせつ当たらないようにしてはかる。

2 1日の気温の変化についての次の文の()にあてはまる言葉を下の□から選んで答えよう。

60点(1つ10点)

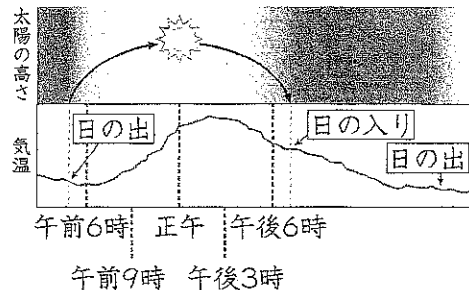
- (1) 1日の気温は、昼間は()く、夜は()くなっている。
- (2) 1日の中でも、()が変化すると気温も変化する。
- (3) 1日の気温の変化を折れ線グラフに表す。
 - ① 横に()をかく。
 - ② たてに()をかく。
- (4) ()はくもりの日よりも気温の変化が大きい。

天気 気温 時こく 高 低 晴れの日

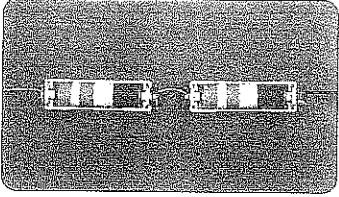
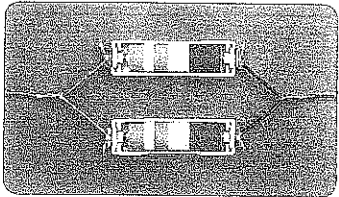
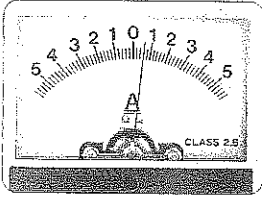
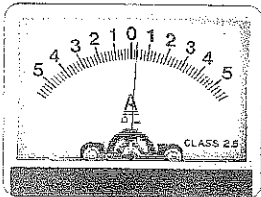
右の図を見て、()にあてはまる言葉を答えよう。

点数なし

- (1) 太陽の高さは、()ごろにいちばん高くなるが、気温は、()ごろにいちばん高くなっている。
- (2) 気温は、夕方をすぎるとだんだん下がっていき、()のころにいちばん低くなる。



1 下の図を見て、①～⑧の()にあてはまる言葉を答えよう。 80点(1つ10点)

かん電池の つなぎ方	 ① ()つなぎ	 ② ()つなぎ
モーターの 回る速さ	③ かん電池 このとき とくらべると、 ()い。	④ かん電池 このとき とくらべると、 ()い。
でんりゅう 電流の強さ	 ⑤ かん電池 このとき とくらべると、 ()い。	 ⑥ かん電池 このとき とくらべると、 ()い。
豆電球の 明るさ	⑦ かん電池 このとき とくらべると、 ()い。	⑧ かん電池 このとき とくらべると、 ()い。

2 次の問いに答えよう。 20点(1つ10点)

(1) かん電池、豆電球(またはモーター)、けん流計、どう線などをつないだ道すじを何というかな。 ()

(2) けん流計に、かん電池だけをつなぐと、どうなるかな。 ()

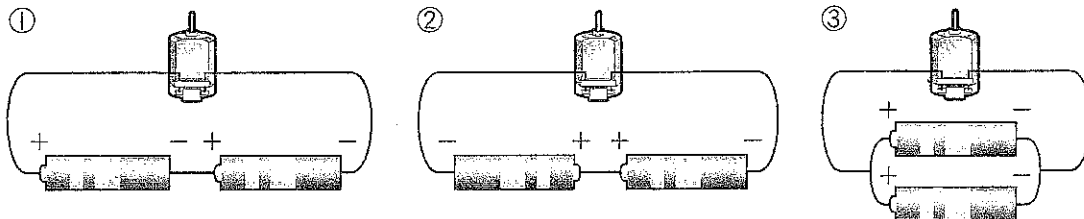


12

3 電気のはたらき②

① 下の図を見て、次の問いに答えよう。

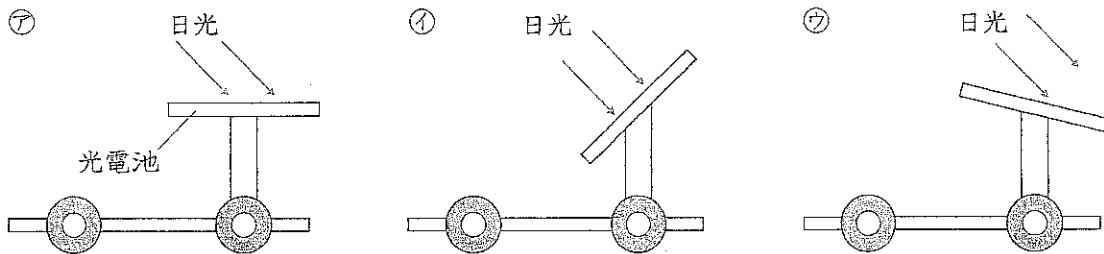
40点(1つ10点)



- (1) 上の図の①～③で、モーターが回るものには○、回らないものには×をつけよう。 ①() ②() ③()
- (2) 図の①～③で、モーターがいちばん速く回るのはどれかな。番号で答えよう。 ()

② 光電池こうでんちを使ってソーラーカーをつくりました。下の図を見て、次の問いに答えよう。

60点(1つ20点)



- (1) 上の図の㉗～㉙で、いちばん速く走るのはどれかな。記号で答えよう。 ()
- (2) (1)のように答えたのはなぜかな。正しいほうに○をつけよう。
 () 光電池がいちばん軽くなっているから。
 () 光電池に光がいちばん強く当たっているから。
- (3) 光電池に当たる光をさえぎると、ソーラーカーはどうなるかな。正しいものに○をつけよう。
 () 走らなくなる。
 () もっと速く走るようになる。
 () 一度止まってから、また走り始める。

15

4 夏の自然

1 右の図を見て、次の問いに答えよう。

30点(1つ15点)

(1) この鳥の名前は何というかな。下の から選んで、記号で答えよう。()

アツバメ ①ヒヨドリ ウスズメ

(2) この鳥は、右の図ではどんなことをしているのかな。正しいものに○をつけよう。

() えさをさがしている。

() 巣をつくっている。

() ひなにえさをあたえている。



2 ナナホシテントウの図を見て、次の問いに答えよう。

40点(1つ10点, (1)は全部できて10点)

(1) 右の図の①～③を、育つ順に、番号でならべかえよう。

(→ →)

(2) ①～③のころをそれぞれ何というかな。①() ②() ③()



3 右の図は、夏のヒョウタンのようなすです。これを見て、次の問いに答えよう。

30点(1つ15点)

(1) ヒョウタンの花は何色かな。

()

(2) 春とくらべて、ヒョウタンのくきののび方はどうなったかな。正しいものに○をつけよう。

() のび方は小さくなった。

() のび方は大きくなった。

() のび方は変わらない。



1 7月のある日の午後9時ごろ、空を見上げると、下の図のように見えました。これについて、次の問いに答えよう。 50点(1つ10点, (4)は全部できて10点)

(1) 右の図のような星が見えたのは、どの方位の空を見上げたときかな。

()

(2) ㉠～㉣の3つの星をつなぐと三角形ができます。この三角形の名前を何というかな。

()

(3) ㉠～㉣の星は、何等星かな。

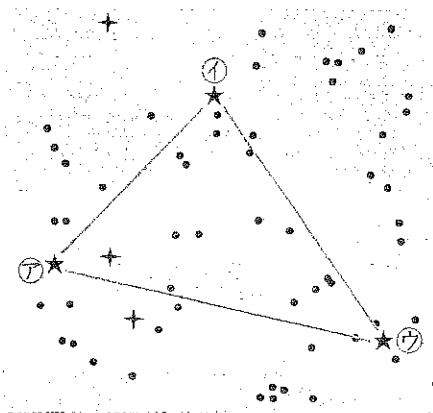
()

(4) ㉠～㉣の星の名前を答えよう。

㉠() ㉡() ㉢()

(5) ㉠の星がふくまれている星座の名前を、下の から選んで、番号で答えよう。 ()

- | | |
|-------|---------|
| ①さそり座 | ②こと座 |
| ③わし座 | ④はくちょう座 |

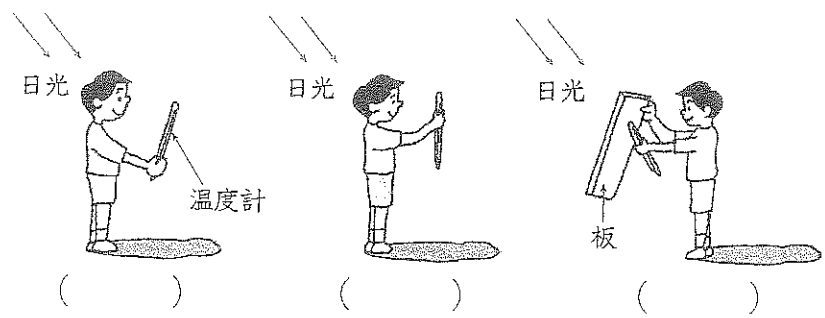


2 次の文は、星を観察してわかったことをまとめたものです。正しいものには○、まちがっているものには×をつけよう。 50点(1つ10点)

- () どの星も、みんな同じ明るさをしている。
- () 赤っぽい星や白っぽい星など、夜空にはいろいろな色をした星がある。
- () 白っぽい星は、すべて1等星である。
- () 星は明るいものから順に、1等星、2等星…と分けられている。
- () 星は大きいものから順に、1等星、2等星…と分けられている。

1 下の図のうち、**気温**のほかり方として正しいもの2つに○をつけよう。

20点(1つ10点)



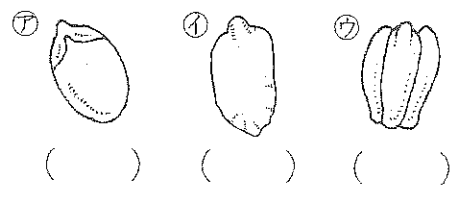
2 春の生き物のようすで、正しいもの4つに○をつけよう。

40点(1つ10点)

- () オオカマキリがチョウをつかまえていた。
- () ヒヨドリが木の実を食べていた。
- () 草むらで、オオカマキリのような虫が見られた。
- () ツバメがいなくなり、巣も空っぽになっていた。
- () 草むらに、タンポポの花がさいていた。
- () ナナホシテントウがたまごを産んでいた。

3 ヒョウタンのたねまき、植えかえについて、次の問いに答えよう。 40点(1つ10点)

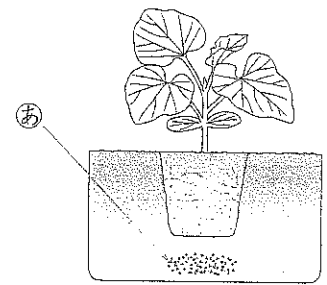
(1) 右の図の㉑～㉓で、ヒョウタンのたねに○をつけよう。



(2) たねをまく深さは、どれぐらいがよ
いかな。()cmぐらい

(3) 右の図は、ヒョウタンの植えかえについて、
表したものです。

- ① 図の㉔は何かな。()
- ② ㉔を入れるときに注意することは何かな。()



1 次の文は、天気^{てんき}の決め方や気温^{きおん}のはかり方について説明^{せつめい}しています。正しいものには○、まちがっているものには×をつけよう。 20点(1つ5点)

- () 雲があっても、青空が見えているときを、晴れという。
- () 空気の温度を気温という。
- () 気温は、地面から0.2~0.5mの高さではかる。
- () 気温をはかるときは、温度計を日光に当てる。

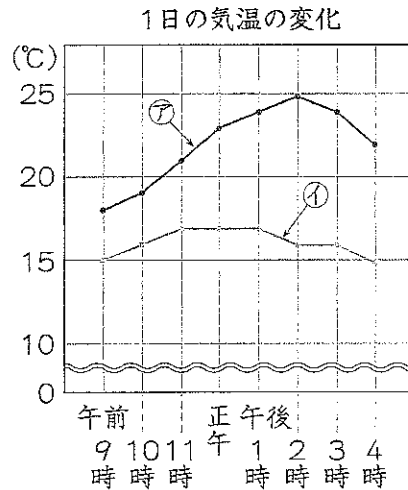
2 右のグラフは、晴れの日と雨の日で、1日の気温^{きおん}の変化^{へんか}を表したものです。次の問いに答えよう。 40点(1つ10点)

(1) ㊦、㊧は、それぞれどちらの天気^{てんき}の日のグラフを表しているかな。

- ㊦()の日
- ㊧()の日

(2) 次の文で、正しいものには○、まちがっているものには×をつけよう。

- () 雨の日の気温^{きおん}の変化は、晴れの日より大きい。
- () 晴れの日は、雨の日より気温^{きおん}が高い。



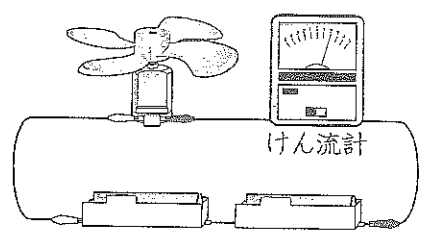
3 天気と気温^{きおん}について、まとめました。()にあてはまる言葉を、下の□から選んで答えよう。 40点(1つ10点)

- (1) 気温は風通しのよい()ではかる。
- (2) 1日の気温^{きおん}の変化を表す折れ線グラフのたては、()をとる。
- (3) 晴れた日は、気温^{きおん}の変化が()。
- (4) 雨の日の気温^{きおん}の変化が小さいのは、()が日光をさえぎるからである。

気温 時こく 大きい 小さい 雲 日なた 日かげ

1 けん流計の使い方についてまとめました。次の文の()にあてはまる言葉を、下の□から選んで、記号で答えよう。 (40点(1つ10点))

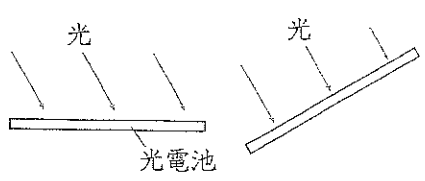
- (1) けん流計を使うと、電流の()や()を調べることができる。
- (2) ()の強さによって、スイッチを切りかえる。
- (3) けん流計は、()などところに置いて使う。



- ア水平 イ向き ウ強さ エ長さ オ電流

2 光電池について、次の問いに答えよう。 (30点(1つ10点, (3)は全部できて10点))

- (1) 光電池はどこに置いたらよいか。正しいものに○をつけよう。
 ()日なた ()日かげ
- (2) 右の図の①, ②の光電池の置き方で、強①() ②()い電流が流れるほうに○をつけよう。
- (3) 次の光電池についてかかれた文で、正しいもの2つに○をつけよう。
 ()暗い場所でも使うことができる。
 ()鏡で光を重ねて当てると、はたらきが強くなる。
 ()使っていると、はたらきがだんだん弱くなる。
 ()かん電池よりも長く使える。



3 かん電池について、()にあてはまる言葉を答えよう。 (30点(1つ10点))

- (1) +極と-極が次々につながるつなぎ方を()つなぎという。
- (2) +極どうし、-極どうしを1つにまとめるようなつなぎ方を()つなぎという。
- (3) 豆電球の2本のどう線が、かん電池の+極と()につながっているときだけ、明かりがつく。

1 夏の生き物のようすについて、次の問いに答えよう。 60点(1つ10点)

(1) 夏のサクラのようすについて、()にあてはまる言葉をかこう。

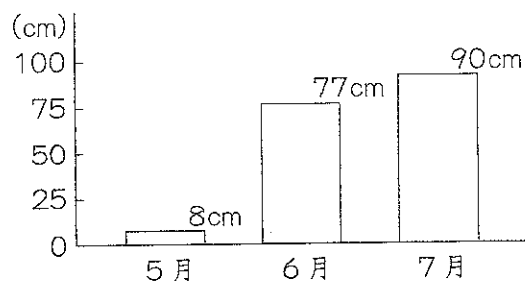
- ① 葉は春より大きく、色はこい()色をしている。
- ② 葉の中には、虫に()られたあとのあるものもあった。
- ③ 全体的に、緑色の()が長くのびている。

(2) こん虫のようすを観察しました。夏に見られるもの3つに○をつけよう。

- () モンシロチョウが花のみつをすっていた。
- () アブラゼミが林の中で鳴いていた。
- () オオカマキリがたまごを産んでいた。
- () カブトムシやクワガタムシが木のしるをすっていた。
- () ナナホシテントウがたまごを産んでいた。
- () ナナホシテントウがアブラムシを食べていた。

2 月初めの1週間のヒヨウタンのくきののびを、グラフに表しました。これを見て、次の問いに答えよう。 40点(1つ10点)

- (1) くきののびがいちばん小さいのは何月かな。()
- (2) くきののびがいちばん大きいのは何月かな。()
- (3) くきののびと気温との関係について、正しいもの2つに○をつけよう。



- () 晴れた日は、くきののび方は大きくなる。
- () 気温が高くなると、くきののび方は小さくなる。
- () 気温とくきののびには、特に関係がない。
- () 晴れた日は、くきののび方は小さくなる。
- () 気温が高くなると、くきののび方は大きくなる。

1 右の図は、7月の初めの午後9時ごろの夜空を見上げたようすです。これを見て、次の問いに答えよう。 40点(1つ10点)

(1) どの方位の夜空のようすかな。

次のア, ①から選んで、記号で答えよう。 ()

ア北の空 ①南の空

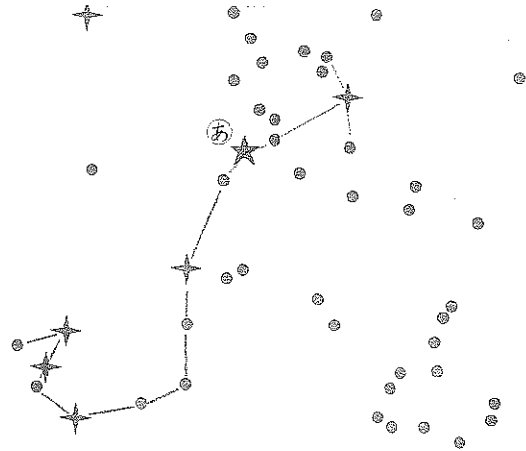
(2) 右の図の星の集まりは、何という星座かな。()座

(3) ②の星はどのような色をしているかな。次のア~ウから選んで、記号で答えよう。 ()

ア白っぽい色 ①青っぽい色 ウ赤っぽい色

(4) 何等星という分け方は、星のどんなようすで決めるのかな。正しいものに○をつけよう。

()星の色 ()星の高さ ()星の明るさ



2 夏の夜空で、右の図のような星の集まりを見つけました。これを見て、次の問いに答えよう。 60点(1つ20点)

(1) この星座の名前をかこう。

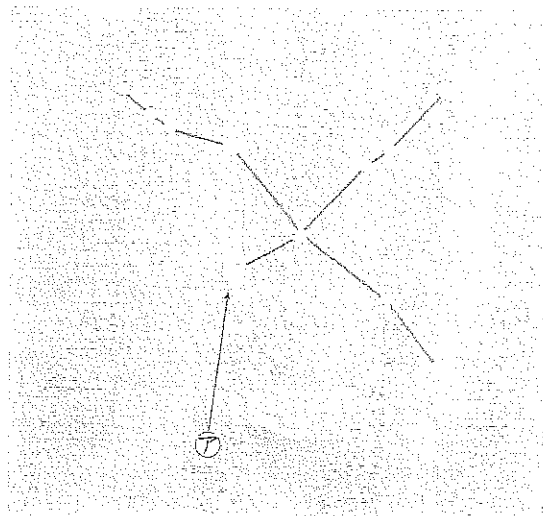
()座

(2) この星座でいちばん明るい①の星の名前をかこう。

()

(3) ①の星は、ベガ、アルタイルとともに三角形をつくっています。この三角形を何というかな。

()



1 右の①～④の図は、落ちていくゴムボールがゆかではね返っているようすを表しています。これを見て、次の問いに答えよう。 50点(1つ10点)

(1) ゴムボールの中には、何が入っているかな。 () ①落ちるとちゅう。

(2) ②, ③のとき, 中に入っているものの体積は, どうなったかな。正しいほうを○で囲もう。

② ゴムボールがゆかに当たった。体積が { 小^こさ・大^おき } くなった。

③ ゴムボールがはね返った。体積が { 小^こさ・大^おき } くなった。

(3) (2)のことから, どんなことがわかるかな。次の文の()にあてはまる言葉をかこう。

とじこめた空気の体積を()くすると, もとの()にもどろうとするので, ゴムボールがゆかではね返った。

2 ちゅうしゃ器に玉をつめて, 飛ばそうとしました。次の問いに答えよう。

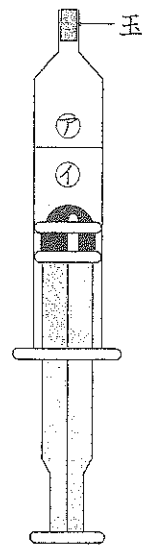
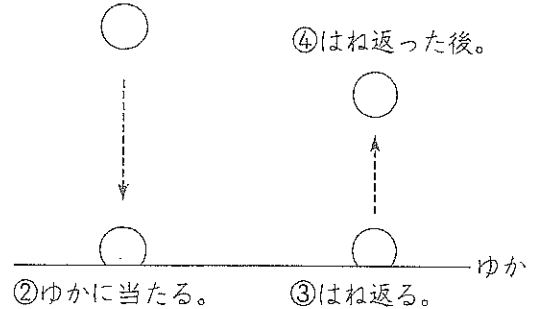
(1) 右の図のように, ちゅうしゃ器を上向きにして, 中に水と空気を半分ずつ入れた。空気は, ㉠, ㉡のどちらかな。 ()

(2) ピストンをおすと, ㉠の体積はどうなるかな。 ()

(3) ピストンをおすと, ㉡の体積はどうなるかな。 ()

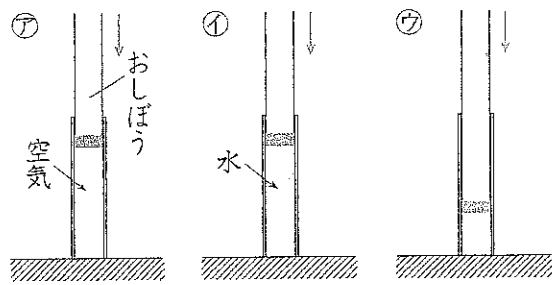
(4) ピストンをおす力を強くするほど, おし返される手ごたえはどうなるかな。正しいものを○で囲もう。
{ 弱^かくなる・変^かわらない・強^かくなる }

(5) ピストンをおしていくと, 玉は飛び出すかな, 飛び出さないかな。 ()



1 つつの中に空気と水を入れて、おしちぢめる実験をしました。次の問いに答えよう。 (100点(1つ20点))

(1) おしぼうをおしていくと、㉗のようになるのは、㉕、㉙のどちらかな。()



(2) (1)から、空気と水の体積について、どんなことがわかるかな。正しいものに○をつけよう。

- () 空気の体積は小さくなるが、水の体積は変わらない。
- () 水の体積は小さくなるが、空気の体積は変わらない。
- () 空気も水も、体積は変わらない。

(3) ㉗のようにおしちぢめてから、おしている手を放すと、おしぼうはどうなるかな。正しいほうに○をつけよう。

- () そのまま動かない。
- () もとの位置にもどる。

(4) この実験から、どんなことがわかるかな。次の文の()にあてはまる言葉をかこう。

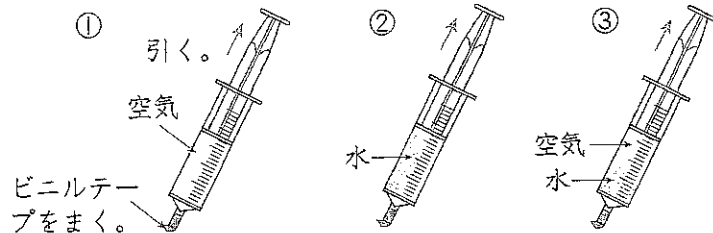
() は、おしちぢめることができるが、() は、おしちぢめることができない。

ちゅうしゃ器のピストンを引いてみよう。

点数なし

空気や水を入れたちゅうしゃ器のピストンを引くと、それぞれの体積はどうなるかな。次の㉕~㉗に、☒の①~③の番号をかこう。

- ㉕() ふえる。
- ㉙() 少しふえる。
- ㉗() 変わらない。



3 植物を育てる① (p.5)

★ ビニルポットにヘチマのたねをまいて育てます。次の問いに答えよう。

- (1) 右の図の①、②の□にあてはまる言葉をかこう。
 (2) たねをまく深さ(図の③)は、いくらにすればよいかな。次の①~④から選んで、記号で答えよう。
 ①約1cm ②約3cm ③約5cm
 (3) ヘチマのたねは、④、⑤、⑥のどれかな。正しいものに○をつけよう。

★ ヘチマの芽が出て背がきたので、花だんに植えかえます。次の問いに答えよう。

- (1) 右の図の①は何かな。□にあてはまる言葉をかこう。
 (2) 植えかえるのにちょうどよいのは、下の①~④のどれかな。記号で答えよう。

★ ヘチマの植えかえについて、□にあてはまる言葉を答えよう。

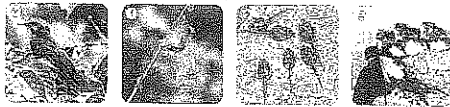
- (1) ひりょうは□にふれないように入れる。 (1) 根 (2) しんじょう
 (2) 高さが10~15cmになったら、□を立てる。 (2) しんじょう

植物を育て、季節とともに変わる葉の形や(大きさ)、くきの(ひりょう)などの成長の様子を調べる。芽が出て葉が3~4まいになったころ、花だんに(ひりょう)。

★ (2)ヘチマのたねをまくとき、あまり深すぎると土の表面まで芽が出てこないことがあります。★(1)ひりょうは、根の下に、ちよくせつ根にふれないように入れます。

4 生きものレポート (p.6)

下の図の①~④は、春に見られる生き物です。これを見て、次の問いに答えよう。



- (1) ①~④の生き物の名前を、下の□から選んで、番号で答えよう。
 ①(4) ②(2) ③(3) ④(5)

- ①ナナホシテントウ ②オオカマキリ ③おたまじゃくし
 ④ヒヨドリ ⑤ツバメ ⑥クロオオアリ

- (2) ④の親鳥は、何をしているのかな。(ひなにえさをあたえている。)

下の図の①~③は、ヘチマ、ヒョウタン、ツルレイシのどれかの植物です。これを見て、次の問いに答えよう。



- (1) ①~③の植物の名前をかこう。
 ①ツルレイシ ②ヒョウタン ③ヘチマ

- (2) ①~③の植物のたねは、右の図の①~③のそれぞれどれかな。記号で答えよう。
 ①(1) ②(2) ③(3)

★ ヒョウタン、ヘチマ、ツルレイシは、同じような種類の植物です。たねから実になり、かれるまで、観察を続けます。ツルレイシは、にがうりともゴーヤともよばれます。

5 天気と気温の調べ方 (p.7)

★ 天気の決め方について、()にあてはまる言葉を、下の□から選んで答えよう。

- (1) 雲があっても青空が見えているときを、(晴れ)という。
 (2) 雲が広がって、青空がほとんど見えないうきを(曇り)という。

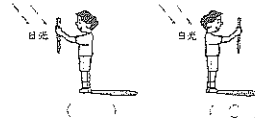
晴れ 曇り 雨

★ 右の図は、気温をはかるときの様子を表しています。次の文の()にあてはまる言葉を、下の□から選んで答えよう。

- (1) 空気の高さを(気温)という。
 (2) 気温は、(風通し)のよいところではかる。
 (3) 地面から、1.2~1.5mの高さではかる。
 (4) 温度計にちよくせつ(日光)が当たらないように紙や板などで(日かげ)をつくる。

日光 日かげ 風通し 気温 0.2~0.5 1.2~1.5

★ 下の図のうち、温度計の使い方として正しいほうに○をつけよう。



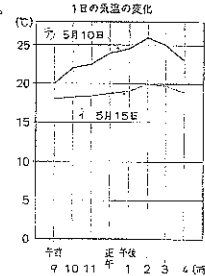
★ 空気の温度を()という。気温は、風通しのよい(日かげ・日なた)の場所ではかる。

★ 気温は、風通しのよい日かげで地面からの高さが1.2~1.5mのところではかります。そのとき、温度計に、日光がちよくせつ当たらないようにします。

6 天気による気温の変化 (p.8)

★ 晴れた日と雨の日の、1日の気温の変化をグラフに表しました。次の問いに答えよう。

- (1) 右のようなグラフを何というかな。(折れ線)グラフ
 (2) 雨の日のグラフは、①、②のどちらかな。記号で答えよう。
 (3) 5月10日の午後3時の気温は何度かな。(25℃)
 (4) 5月15日の午前9時から午後4時までの間で、気温がいちばん低いのは何時かな。(午前9時)
 (5) 1日の気温の変化が大きいの、①、②のどちらかな。記号で答えよう。(2)



★ 1日の気温の変化を折れ線グラフに表します。□にあてはまる言葉を答えよう。

- (1) 初めにグラフの□□をかく。(1) 題名
 (2) 横に、□□をとり、目もりと単位をかく。(2) 時刻
 (3) たてに、□□をとり、目もりと単位をかく。(3) 気温

★ 晴れた日は、気温の変化が(大きい)が、雨の日は、気温の変化は(小さい)。1日の()は、天気によってちがいがあ。

★ 晴れた日と雨の日の、1日の気温の変化を、折れ線グラフに表してくらべます。(5)晴れた日は気温の変化が大きく、雨の日は気温の変化は小さくなります。

7 **まじりのテスト** (p.9)

★ 気温のはかり方について説明している文で、()にあてはまる言葉を書えよう。

- (1) 気温は、地面から1.2~1.5mの高さで、(風通し)のよい日にかけてはかる。
- (2) 温度計に、(日光)がちよくせつ当たらないようにしてはかる。

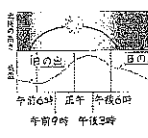
★ 1日の気温の変化についての次の文の()にあてはまる言葉を下の□から選んで書えよう。

- (1) 1日の気温は、昼間は(高)く、夜は(低)くなっている。
- (2) 1日の中でも、(天気)が変化すると気温も変化する。
- (3) 1日の気温の変化を折れ線グラフに表す。
 - ① 横に(時こく)をかく。
 - ② たてに(気温)をかく。
- (4) (晴れの日)はくもりの日より気温の変化が大きい。

天気 気温 時こく 高 低 晴れの日

★ 右の図を見て、()にあてはまる言葉を書えよう。

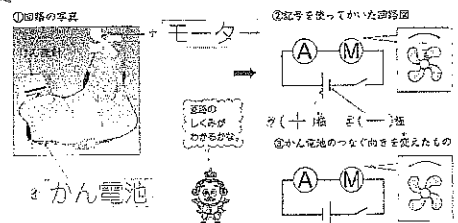
- (1) 太陽の高さは、(正午)ごろにいちばん高くなるが、気温は、(午後2時)ごろにいちばん高くなる。
- (2) 気温は、夕方をすぎるとだんだん下がっていき、(日の出)のころにいちばん低くなる。



まとめ 晴れの日は気温の変化が大きく、雨の日は気温の変化が小さいです。太陽の高さは、正午ごろがいちばん高くなります。気温がいちばん高くなるのは午後2時ごろです。

8 **モーターの回る向き** (p.10)

★ 下の図を見て、次の問いに答えよう。



- (1) 図①の①、②の()にあてはまる言葉をかこう。
- (2) 図②の③、④の()にあてはまる記号をかこう。
- (3) 図③は、図②のかん電池のつなぐ向きを変えたものです。モーターの回る向きを矢印で図にかきこもう。

★ 次の問にあてはまる言葉を書えよう。

- (1) 電気の流れる道すじを□□という。 (1) 回路
- (2) かん電池のつなぐ向きを変えると、□□の向きが変わる。 (2) 電流
- (3) □□□□を使うと、電流の強さや向きがわかる。 (3) けん流計
- (4) けん流計は、モーターなどとともに回路の中につなぎ、□□□□だけとつないでいけない。 (4) かん電池

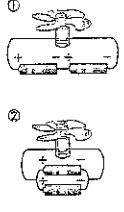
かん電池のつなぐ向きを変えると、モーターの回る向きは、(変わる) 変わらない。けん流計は、電流の(向き)や、(強さ)がわかる。

まとめ (3)かん電池のつなぐ向きを変えると、電流の向きが変わり、モーターの回る向きが変わります。★(1)電気の流れる道すじを回路といいます。

9 **直列・へい列つなぎ** (p.11)

★ 右の図を見て、次の文の()にあてはまる言葉を書えよう。

- (1) 図①のように、かん電池の+極と-極が次々につながるようなつなぎ方を、(直列)つなぎという。回路に流れる電流が、かん電池1このときより(強)くなり、モーターが(速)く回る。
- (2) 図②のように、かん電池の同じ極どうしが1つずつにまどまるようなつなぎ方を、(へい列)つなぎという。回路に流れる電流が、かん電池1このときと(変わ)らず、モーターの回る速さもかん電池1このときと(変わ)らない。



自分でかん電池をつなげてみるよ。 モーターの回りにけん流計をつけてみるよ。

★ 次の問いに答えよう。

- (1) 豆電球をかん電池2こでつなぐとき、かん (1) 直列つなぎ電池1このときより明るくなるつなぎ方を何 (2) へい列つなぎつなぎというかな。
- (2) 豆電球をかん電池2こでつなぐとき、かん電池1このときと明るさが変わらないつなぎ方を何つなぎというかな。

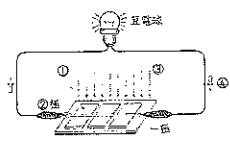
モーターを速く回すには、かん電池2こを(直列)へい列つなぎにすればよい。直列へい列つなぎでは、モーターがかん電池1このときと()で回る。

まとめ ★かん電池2こを、直列つなぎとへい列つなぎにしたとき、電流の強さや、モーターの回る速さなどをかん電池1このときとくらべます。

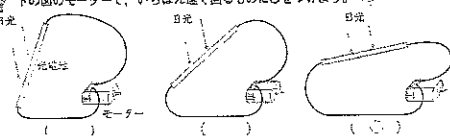
10 **光電池のはたらき** (p.12)

★ 右の図を見て、①~④の()にあてはまる言葉や記号を、下の□から選んで書えよう。

- ① (光電池)は、日なたに置く。
- ② (+)極
- ③ (日光)は、真上から当たるようにする。
- ④ (電流)の道すじ



★ 下の図のモーターで、いちばん速く回るものに○をつけよう。



★ 次の問いに答えよう。また、□にあてはまる言葉を書えよう。

- (1) 光電池に当たる光が□□になると、回路に流れる電流が強くなる。 (1) 強
- (2) 何年たっても使えるのは、光電池とかん電池のどちらかな。 (2) 光電池

()の真上から光を当てると、(強)い電流が流れてモーターが(速)く回る。

まとめ ★(2)かん電池は長い時間使うと、はたらきがなくなります。光電池は太陽電池ともよばれ、光さえあれば、いつでも電気を取り出すことができます。

夏休みレポート (p.13)

下の図を見て、①～⑧の()にあてはまる言葉を答えよう。

かん電池のつなぎ方		
	① (直列) つなぎ	② (へい列) つなぎ
モーターの回る速さ	③ かん電池1このときとくらべると、(速) い。	④ かん電池1このときとくらべると、(変わらない) い。
電流の強さ		
	⑤ かん電池1このときとくらべると、(強) い。	⑥ かん電池1このときとくらべると、(変わらない) い。
豆電球の明るさ	⑦ かん電池1このときとくらべると、(明る) い。	⑧ かん電池1このときとくらべると、(変わらない) い。

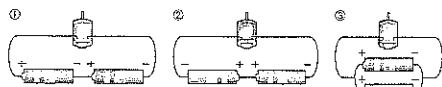
次の問いに答えよう。

- かん電池、豆電球(またはモーター)、けん流計、どう線などをつないだ道すじを何とよぶか。(回路)
- けん流計に、かん電池だけをつなぐと、どうなるか。(けん流計がこわれる。)

かん電池の直列つなぎとへい列つなぎについて、モーターの回る速さ、電流の強さ、豆電球の明るさなど、かん電池1このときのようにとくらべます。

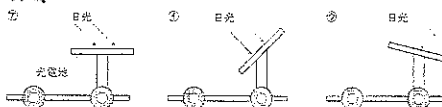
夏休みレポート (p.14)

下の図を見て、次の問いに答えよう。



- 上の図の①～③で、モーターが回るものには○、回らないものには×をつけよう。①(○) ②(×) ③(○)
- 図の①～③で、モーターがいちばん速く回るのはどれかな。番号で答えよう。(①)

光電池を使ってソーラーカーをつくりました。下の図を見て、次の問いに答えよう。



- 上の図の①～③で、いちばん速く走るのはどれかな。記号で答えよう。(②)
- (1)のように答えたのはなぜかな。正しいほうに○をつけよう。
() 光電池がいちばん軽くになっているから。
(○) 光電池に光がいちばん強く当たっているから。
- 光電池に当たる光をさえぎると、ソーラーカーはどうなるかな。正しいものに○をつけよう。
(○) 走らなくなる。
() もっと速く走ようになる。
() 一度止まってから、また走り始める。

(1) 2この電池を直列つなぎにするときは、電池の+極と-極が次々につながるようにしなければなりません。②は+極と+極がつながっているため、電流は流れません。

夏の動物や植物 (p.15)

夏のサクラを観察しました。次の文の()にあてはまる言葉を答えよう。

- サクラの木には、つやつやした(葉)がしげっていた。
- 春よりも葉が大きく、色はこい(緑)色をしていた。
- 植物全体では、緑色の(えだ)が長くのびていた。



次の動物で、夏の様子を表しているもの3つに○をつけよう。



次の文で、夏の様子を表しているものには○、まちがっているものには×をつけよう。

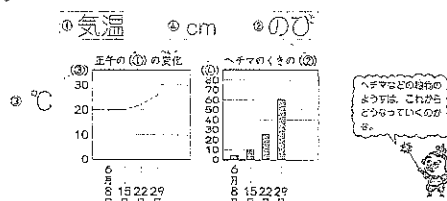
- オオカマキリのたまごが卵についた。(○) ×
- ヒヨドリがひなにえさをあたえていた。(○) ○
- ナナホシテントウがアブラムシを食べていた。(○) ○
- オンブバッタのよう虫が灰色い色をしていた。(○) ×
- ヒョウダンの花がさいた。(○) ○

多くの植物は、夏は暑にくらべて、くさが(のび)ちみ、葉がふる。また、()が活発に活動する。

サクラの観察を続けると、夏には、葉が大きくしげり、こい緑色になります。中には虫に食べられたものも見られます。全体としては、緑色のえだが長くのびています。

植物を育てる② (p.16)

夏の訪めへのヘチマの成長の様子を観べました。図を見て、次の問いに答えよう。



図の①～④の()にあてはまる言葉や記号を、下の□から選んで答えよう。

夏になると、くきの長さはどうなるかな。(長くなる。)

右の図は、夏のヘチマの様子です。図を見て、()にあてはまる言葉を答えよう。

- ヘチマの観察について大切なこと。
① □の長さ
② 葉の形や大きさ、葉の□や色
③ □や実があるかどうか
④ 夏になると、春とくらべて育ち方が大きくなる。そのわけは、□が高くなるからである。

cm °C 気温 のび

- ①くき
②葉
③実
④気温

()になると、ヘチマのくきの長さは(長く)短く)なる。これは、気温が(高く)低く)なるからである。

夏になると、ヘチマもめざましく成長します。くきの長さが最も伸びるのは7月ごろです。これは、ヘチマだけでなく、ヒョウタンやツルレイシなどにも共通しています。

右の図を見て、次の問いに答えよう。

- (1) この鳥の名前は何か。下の□から選んで、記号で答えよう。(○)
- (2) この鳥は、右の図ではどんなことをしているのかな。正しいものに○をつけよう。



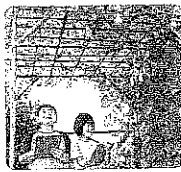
ナナホシテントウの図を見て、次の問いに答えよう。

- (1) 右の図の①～③を、育つ順に、番号でならべかえよう。
- (2) ①～③のころをそれぞれ何というかな。①(さなぎ) ②(よう虫) ③(成虫)



右の図は、夏のヒョウタンのようなです。これを見て、次の問いに答えよう。

- (1) ヒョウタンの花は何色かな。
- (2) 春とくらべて、ヒョウタンのくきのび方はどうなったかな。正しいものに○をつけよう。



春にたまごからかえって、春から夏の間に成長する動物が多いです。ヒヨドリも、夏に子育てをします。ナナホシテントウの育ち方は、たまご→よう虫→さなぎ→成虫。

右の図を見て、次の問いに答えよう。

- (1) 右の道具は、星や星座をさがすときに使います。何という名前かな。
- (2) 右の図は、この道具を使って夜空の星を調べているところです。どの方位の空を調べているのかな。

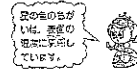


次の文で、正しいもの2つに○をつけよう。

- (○) 1等星は3等星より明るい。
- () さそり座のアンタレスは、白っぽい星である。
- () 星はすべて同じ明るさで光っている。
- (○) 星には、いろいろな色がある。

次の問いに答えよう。また、□にあてはまる言葉を答えよう。

- (1) さそり座にある赤っぽい星を何というかな。
- (2) 昔の人は、星の集まりを動物や道具に見立てて名前をつきました。これを何というかな。
- (3) 星や星座をさがすときは、□を使うと便利です。

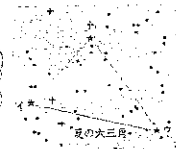


さそり座の赤っぽい星は、(アルタイル)アンタレスである。星や星座をさがすときは、(星図)を使う。

星座早見は、見ようとする方位を下にして持ち上げて使います。この図では、「東」が下になっているので、見ようとする方位は、東であることがわかります。

7月のある日の午後9時ごろ、夏の次三角を見つめました。これについて、次の問いに答えよう。

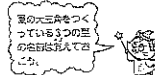
- (1) 右の図の①～③の星の名前を、下の□から選んで答えよう。



- (2) 夏の次三角は、どの方位の空に見えるかな。
- (3) ①～③の星は、何等星かな。

次の問いに答えよう。また、□にあてはまる言葉を答えよう。

- (1) 「セタ」のひこ星は①(アルタイル)め星は②(ベガ)である。
- (2) ベガ、デネブ、アルタイルの3つの星をつないだ三角形を何というかな。
- (3) 次の文で、正しいものはどれかな。記号で答えよう。

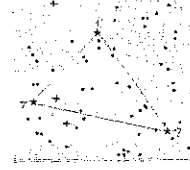


夏の星の空に見られる、明るい3つの星をつないでできる三角形を、(夏の次三角)という。その3つの星は(ベガ)、(デネブ)、(アルタイル)である。

夏の次三角は、夏の東の空に見える、3つの1等星を結んでできる三角形のことです。ベガ(こと座)、デネブ(はくちょう座)、アルタイル(わし座)でできています。

7月のある日の午後9時ごろ、空を見上げると、下の図のように見えました。これについて、次の問いに答えよう。

- (1) 右の図のような星が見えたのは、どの方位の空を見上げたときかな。
- (2) ①～③の3つの星をつなぐと三角形ができます。この三角形の名前を何というかな。
- (3) ①～③の星は、何等星かな。
- (4) ①～③の星の名前を答えよう。



- (5) ①の星がふくまれている星座の名前を、下の□から選んで、番号で答えよう。

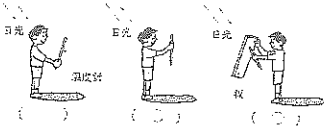
- ①さそり座 ②こと座
- ③わし座 ④はくちょう座

次の文は、星を観察しておかしたことをまとめたものです。正しいものに○、まちがっているものには×をつけよう。

- (×) どの星も、みんな同じ明るさをしている。
- (○) 赤っぽい星や白っぽい星など、夜空にはいろいろな色をした星がある。
- (×) 白っぽい星は、すべて1等星である。
- (○) 星は明るいものから順に、1等星、2等星...と分けられている。
- (×) 星は大きいものから順に、1等星、2等星...と分けられている。

明るさは、星によってちがいます(1等星、2等星、3等星、...など)。また、星は、色によって明るさが変わるわけではありません。

1 下の図のうち、正しいのはかき方として正しいもの2つに○をつけよう。



2 春の生き物のようすで、正しいもの4つに○をつけよう。

- () オオカマキリがチョウをつかまえていた。
- () ヒヨドリが木の葉を食べていた。
- () 草むらで、オオカマキリのような虫が見られた。
- () ツバメがいなくなり、巣も空っぽになっていた。
- () 草むらに、タンポポの花がさいていた。
- () ナナホシテントウがたまごを産んでいた。

3 ヒョウタンのたねまき、植えかえについて、次の問に答えよう。

- (1) 右の図の①～④で、ヒョウタンのたねに○をつけよう。
- (2) たねをまく深さは、どれぐらいがよいかな。() cm ぐらい
- (3) 右の図は、ヒョウタンの植えかえについて、表したものです。
 - ① 図の①は何かな。(ひりょう)
 - ② ②を入れるときに注意することは何かな。(根にふれないようにする。)

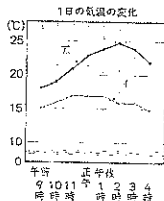
1 左の図は、温度計のえきだめをにぎっているのですが、正しく気温がはかれません。真ん中の図と右の図は、体や板で日光が温度計に当たらないようにしています。

1 次の文は、天気の見え方や気温のはかり方について説明しています。正しいものには○、まちがっているものには×をつけよう。

- () 雲があっても、青空が見えているときを、晴れという。
- () 空気の温度を気温という。
- (×) 気温は、地面から0.2～0.9mの高さではかる。
- (×) 気温をはかるときは、温度計を日光に当てる。

2 右のグラフは、晴れの日と雨の日で、1日の気温の変化を表したものです。次の問に答えよう。

- (1) ①、②は、それぞれどちらの天気の日
のグラフを表しているかな。
①(晴れ)の日
②(雨)の日
- (2) 次の文で、正しいものには○、まちが
っているものには×をつけよう。
(×) 雨の日の気温の変化は、晴れの日
より大きい。
(○) 晴れの日には、雨の日より気温が高
い。



3 天気と気温について、まともしました。()にあてはまる言葉を、下の□か
ら選んで答えよう。

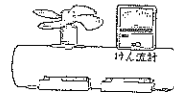
- (1) 気温は風通しのよい(日かげ)ではかる。
- (2) 1日の気温の変化を折れ線グラフのたては、(気温)をとる。
- (3) 晴れた日は、気温の変化が(大きい)。
- (4) 雨の日の気温の変化が小さいのは、(雲)が日光をさえぎるか
らである。

気温	晴こく	大きい	小さい	雲	日なた	日かげ
----	-----	-----	-----	---	-----	-----

2 晴れの日には、雨の日より気温が高
く、晴れの日々の気温の変化は、雨の日より大き
くなります。

1 けん流計の使い方についてまともしました。次の文の()にあてはまる言葉を、
下の□から選んで、記号で答えよう。

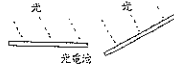
- (1) けん流計を使うと、電流の(向き)や
(強さ)を知ることができる。
- (2) (強さ)の強さによって、スイッチを
切りかえる。
- (3) けん流計は、(向き)などところに置い
て使う。



- ①水平 ②向き ③強さ ④長さ ⑤電流

2 光電池について、次の問に答えよう。

- (1) 光電池はどこに置いたらよいか。正しいものに○をつけよう。
(○) 日なた () 日かげ
- (2) 右の図の①、②の光電池の置き方で、強さ() ()
い電流が流れるほうに○をつけよう。
- (3) 次の光電池についてかかれた文で、正し
いもの2つに○をつけよう。
() 暗い場所でも使うことができる。
(○) 鏡で光を歪めて当てると、はたらきが強くなる。
() 使っていると、はたらきがだんだん弱くなる。
(○) かん電池よりも長く使える。



3 かん電池について、()にあてはまる言葉を答えよう。

- (1) 干電池と一極が次々につながるつなぎ方を(直列)つなぎという。
- (2) 干電池とし、一極どうしを1つにまどめるようなつなぎ方を
(へい列)つなぎという。
- (3) 豆電球の2本のどう線が、かん電池の+極と(一極)につながっ
ているときだけ、明かりがつく。

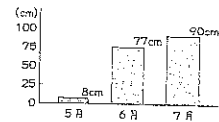
1 電流の流れる向きは、けん流計の
はりのふれる向きでわかります。2 光電池に
当たる光が強いほど、強い電流が流れます。そ
のためには、光がよく当たる場所に置きます。

1 夏に生き物のようすについて、次の問に答えよう。

- (1) 夏にサクラのようすについて、()にあてはまる言葉をかこう。
① 葉は春より大きく、色はこい(緑)色をしている。
② 葉の中には、虫に(食べ)られたあとのあるものもあった。
③ 全体的に、緑色の(えだ)が長くのびている。
- (2) こん虫のようすを調べました。夏に見られるもの3つに○をつけよ
う。
() モンシロチョウが花のみつをつっていた。
(○) アブラゼミが林の中で鳴いていた。
() オオカマキリがたまごを産んでいた。
(○) カブトムシやクワガタムシが木のしるをつっていた。
() ナナホシテントウがたまごを産んでいた。
(○) ナナホシテントウがアブラムシを食べていた。

2 月お初めの1週間のヒョウタンのくきのびを、グラフに表しました。これを見て、
次の問に答えよう。

- (1) くきのびがいちばん小さいの
は何月かな。(5月)
- (2) くきのびがいちばん大きい
は何月かな。(7月)
- (3) くきのびと気温との関係につ
いて、正しいもの2つに○をつけ
よう。
(○) 晴れた日は、くきのび方は大きくなる。
() 気温が高くなると、くきのび方は小さくなる。
() 気温とくきのびには、特に関係がない。
() 晴れた日は、くきのび方は小さくなる。
(○) 気温が高くなると、くきのび方は大きくなる。

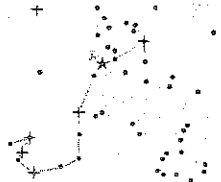


2 夏になって、気温が高くなると、
ヒョウタンもめざましく成長します。くきの
びが最も大きくなるのは夏です。特に、晴れた
日には、くきは大きくなるびます。



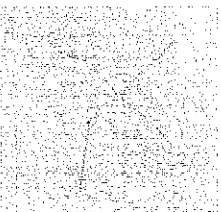
右の図は、7月の初めの午後8時ごろの夜空を見上げたようすです。これを見て、次の問いに答えよう。

- どの方位の夜空のようすかな。次の①、②から選んで、記号で答えよう。
①北の空 ②南の空
- 右の図の星の集まりは、何という星座かな。(さそり)座
- ⑤の星はどのような色をしているかな。次の①～③から選んで、記号で答えよう。
①白っぽい色 ②青っぽい色 ③赤っぽい色
- 何等星という分け方は、星のどんなようすで決めるのかな。正しいものに○をつけよう。
()星の色 ()星の高さ (○)星の明るさ



夏の夜空で、右の図のような星の集まりを見つけました。これを見て、次の問いに答えよう。

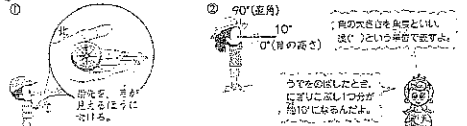
- この星座の名前をかこう。
(はくちょう)座
- この星座でいちばん明るい⑦の星の名前をかこう。
(デネブ)
- ⑦の星は、べガ、アルタイルとともに三角形をつくっています。この三角形を何というかな。
(夏の三角)



1 ⑥の星の名前はアンタレスです。さそり座—アンタレス—赤っぽい色の1等星とセットで覚えておきましょう。何等星という分け方は、星の明るさで決まります。

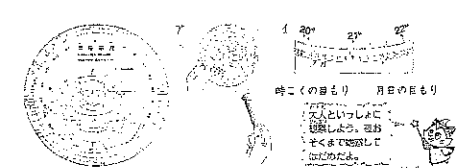
月の位置の調べ方、星座早見の使い方 (p. 26)

月の位置を調べます。下の図を見て、次の問いに答えよう。



- 図①、②は、それぞれ何を調べているのかな。
①(方位) ②(高さ)
- 図①の③について、()にあてはまる言葉をかこう。
③は(方位)じしんとい、図②では、月が(南東)にある。

星座早見の使い方について、()にあてはまる言葉を答えよう。



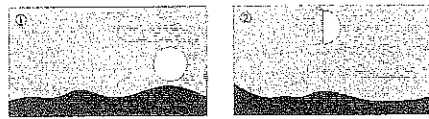
- 星や星座をさがすときは、(星座早見)を使うと便利である。
- 観察する(方位)を下にして上方にさし、夜空の星を見る。
- ④では、(東)の空を観察している。

月の位置は、(方位)と(高さ) (角度)で決まる。

星座早見を使って星や星座をさがすときは、観察する時こくの目もりを月日の目もりに合わせ、観察する方位を下にして夜空の星を見ます。



下の図は、どちらも夏のある2日の午後6時ごろに観察した月のスケッチです。図を見て、次の問いに答えよう。



- ①、②の月は、それぞれ何というかな。
①(満月) ②(半月)
- ①、②の月は、このとき、それぞれどの方位に見えているかな。
①(東) ②(南)
- ①の月は、これから1時間後には、どの方向に動いているかな。正しいものに○をつけよう。
()真上 ()真横 ()真下
(○)ななめ上 ()ななめ下

月のようすについて、次の()にあてはまる言葉を答えよう。

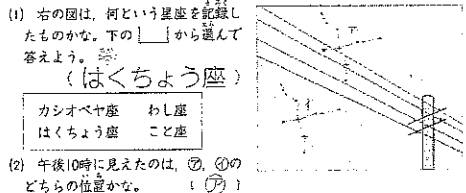
- 満月は、(南)に南の空の高いところにある。(真夜中)
- 半月は、(東)に東からのぼり、真夜中に西にすむ。(西)
- 日の入りと同じころ、東の空に出てくるのは(月)で、(満)である。

半月は、真昼に(東)からのぼり、夕方には(西)の高い位置にある。()は夕方に東からのぼり、真夜中には南の高い位置にある。

(3)東から出た月は、南の空に向かって、右ななめ上に動いていきます。その後、西へと動いていきます。

星の動き① (p. 28)

右の図は、東の空に見えるある星座を、午後8時と午後10時に観察したものです。図を見て、次の問いに答えよう。



- 右の図は、何という星座を記録したのかな。下の(はくちょう座)から選んで答えよう。
カシオペア座 わし座
はくちょう座 こぞ座
- 午後10時に見えたのは、①、②のどちらの位置かな。()
- 次の問いに答えよう。また、()にあてはまる言葉を答えよう。
①(位置) ②(方位)
③(なりび) ④(目印)
⑤(立つ)
- 星の(位置)は、時ごとともに変わっていく。
- 星の(方位)は、時間がたっても変わらない。
- 観察するときには、建物や電線など動かさないものを(目印)にしてかきこんでおく。
- 自分の(位置)に印をつけておいて、毎回、同じところから観察する。

同じくとも、星の見える位置は(変わる)変わらないが、(方位)は(変わる)変わらない。

(4)夜空の観察記録をつくるときは、星などの位置の関係がはっきりわかるように、周りの地上の景色もかきこんでおきます。

38 夏のラスト (p. 37)

下の図は、生き物のようすを表しています。秋に見ることができるときの4つに○をつけよう。

- ①葉が赤色になったサクラ ②オオカマキリとたこ ③ゲンジボタル



- ④カキの実を食べるヒヨドリ ⑤ヒョウタンの花 ⑥トノサマガエル



秋の生き物のようすを表した文で、正しいほうを○で囲もう。

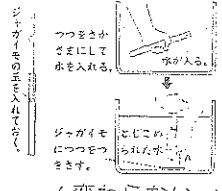
- (1) 秋になると、気温や水温が「高くなる」**低くなる**。
 (2) コオロギやスズメシなどて秋に鳴くのは、「おす」**めす**である。
 (3) 秋になると、「カエル」**リス**は、冬の間食べる木の実を染める。
 (4) 秋になると、動物の活動が「活発になる」**にぶくなる**。
 (5) 秋になると、イチョウの葉の**色**、**数**が変わる。
 (6) ヘチマの実がじゅくしてくと、「緑色」**茶色**に変わる。

38 (2)秋には、コオロギをはじめ、いろいろな虫が鳴きます。鳴いているのは“おす”です。(3)(4)秋になると、動物は、活動がにぶくなり、冬ごしのじゅんびを始めます。

39 つつの中にとじこめた水 (p. 39)

水をとじこめて実験をしました。次の問いに答えよう。

- (1) 図で、矢印の向きにおしぼうをおすと、玉はどうなるかな。正しいものに○をつけよう。
 ()玉は下へ動く。
 ()玉は上へ動く。
 ()玉は動かぬ。
 ()玉は動かぬ。
 (2) (1)のとき、水の体積はどうなるかな。**変わらない。**
 (3) (1)のとき、おしぼうをおしている手ごたえはどうなるかな。**変わらない。**
 (4) (1)~(3)のことから、水はおしぢぢめることができるかな。**できない。**



- 水をとじこめる実験でわかったことをまとめました。□にあてはまる言葉を、下の□から選んで答えよう。
- (1) おしぼうをおしたとき、玉は□□□□。 (1) **動かない。**
 (2) おしぼうをおしたとき、水の□□は変わらない。 (2) **体積**
 (3) おしぼうをおし続けても、手ごたえは□□□□な。 (3) **変わらない。**
 (4) (1)~(3)のことから、水は□□□□めることができない。
 (4) **おしぢぢ**
- 変わら 動かない 体積 おしぢぢ

水を入れたつつのおしぼうをおしたとき、水の()は「変わる」**変わらない**。ので、水はおしぢぢめることができる**できない**。

39 水は、おしぢぢめることができないので、体積は変わりません。後で、空気をとじこめたときの体積の変化とくらべるので、よくかくにんしておきましょう。

40 つつの中にとじこめた空気 (p. 38)

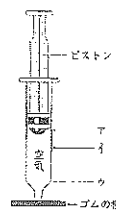
41 空気をちゅうしゃ器にとじこめました。次の(1)~(4)の答えをそれぞれ①~③から選んで、番号で答えよう。

とじこめた空気のせいしつを調べるため、空気てっぽうの玉が飛ぶないようにつづをゴムの板におしつけました。次の問いに答えよう。

- (1) つつの中に何が入っているかな。
 図の□□にかこう。
 (2) おしぼうをおしていくと、つつの中の空気はどうなるかな。
 おしぢぢめられる。
 (3) このとき、おしぼうをおしている手ごたえはどうなるかな。正しいものに○をつけよう。
 ()だんだん小さくなる。 ()変わらない。
 ()だんだん大きくなる。
 (4) おすのをやめると、空気の体積はどうなるかな。
 ()もとにもどる。



- (1) ピストンを手をおすと、ピストンはどうなるかな。 (2)
 ① ③から動かない。
 ② ④ぐらいまで下がる。
 ③ ②まで下がる。
 (2) (1)のとき、おしている手ごたえはどのようになるかな。 (2)
 ① ほとんど手ごたえを感じない。
 ② 強くおすほど、手ごたえが大きくなっていく。
 ③ おし方のちがいに関係なく、同じ手ごたえがある。
 (3) ピストンをおしていた手を放すと、ピストンはどうなるかな。 (2)



- 空気でてっぽうで実験をしました。□にあてはまる言葉を答えよう。
- (1) とじこめられた空気には、おし□□力がある。 (1) **返す**
 (2) とじこめた空気をおすと、体積が□□くなる。 (2) **小さ**
 (3) おしぼうをおしていくと、手ごたえはだんだん□□くなる。 (3) **大き**
 (4) おしぼうをおしていくと、とじこめられた空気は、□□玉をおし出そうとする。 (4) **前**

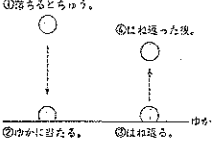
- ① 手を放した位置から動かない。
 ② おし始めた位置にもどる。
 ③ 手を放した位置よりもっと下がる。
 (4) 空気の代わりに、ちゅうしゃ器の中に水をとじこめて、ピストンを手をおすと、どうなるかな。 (1)
 ① ③から動かない。
 ② ④ぐらいまで下がる。
 ③ ②まで下がる。
 (5) (1)~(4)の実験の結果から、空気と水のせいしつについてわかったことをまとめました。正しいものはどれかな。 (3)
 ① 空気も水も、おしぢぢめられない。
 ② 空気も水も、おしぢぢめられる。
 ③ 空気はおしぢぢめられるが、水はおしぢぢめられない。

40 おしぢぢめられた空気は、もとへもどろうとするので、おすのをやめると、その体積がもとにもどります。空気でてっぽうは、空気のこのようなせいしつを利用してあります。

41 (3)おしぢぢめていた力をぬくと、空気はもとの体積にもどります。(4)水はおしぢぢめられないので、ピストンをおしても、水の体積は変わりません。

右の①～④の図は、落ちていくゴムボールがゆかではね返っているようすを表しています。これを見て、次の問に答えよう。

- (1) ゴムボールの中には、何が入っているかな。(空気)
- (2) ②、③のとき、中に入っているものの体積は、どうなったかな。正しいほうを○で囲もう。
- (3) ゴムボールがゆかに当たった。体積が【小さく】なつた。
- (4) ゴムボールがはね返った。体積が【大きく】なつた。
- (5) (2)のことから、どんなことがわかるかな。次の文の()にあてはまる言葉をかこう。



ちゅうしゃ器に玉をつめて、飛ばそうとしました。次の問に答えよう。

- (1) 右の図のように、ちゅうしゃ器を上向きにして、中に水と空気を半分ずつ入れた。空気は、①、②のどちらかな。
- (2) ピストンをおすと、③の体積はどうなるかな。
- (3) ピストンをおすと、④の体積はどうなるかな。
- (4) ピストンをおす力を強くすると、おし返される手ごたえはどうなるかな。正しいものを○で囲もう。
- (5) ピストンをおしていくと、玉は飛び出すかな。飛び出さないかな。



考え方 (1)空気より水のほうが重いので、下のほうに水がたまります。(5)③の部分にとじこめられた空気がおしちぢめられ、もとの体積にもどろうと玉をおすので、玉は上へ飛びます。

アルコールランプやガスコンロの点けんのかたや使い方について調べました。

図の()に、あてはまる数字や言葉を書きよう。

アルコールランプ
ア中のしんは 5 mmぐらい出ている。

実験用ガスコンロ
メガスボンベの取りつけは 切れ目のところを 上 にする。

アルコールは 8 分ぐらい入れておく。

調節つまみを回して、火を消す。

次の文で、正しいものには○、まちがっているものには×をつけよう。

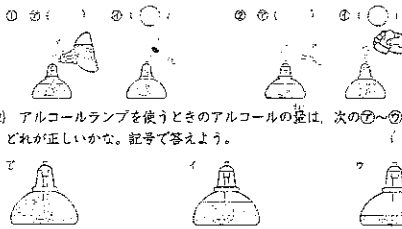
- (1) アルコールランプやガスコンロなどの加熱器具は、つくえのはしに置く。(1) ×
- (2) 火を使う実験では、ぬれたぞうきんを置いておく。(2) ○
- (3) アルコールランプの火を消すときは、ななめ上からすばやくふたをする。(3) ○
- (4) ガスコンロは、調節つまみを回して点火する。(4) ○

ポイント 火を使う実験は、しずまって【立てて】作業する。ガスコンロには、元せんが【ついている(ついていない)】。アルコールランプやガスコンロは、()で点火する。

考え方 ☆アルコールランプは、使う前にしんの長さやアルコールの量をたしかめます。使うときは、ガスライターなどで横から火をつけます。

アルコールランプの正しい使い方について、次の問に答えよう。

- (1) アルコールランプの①点火と②消火について、それぞれ③、④のどちらが正しいかな。正しいほうに○をつけよう。
- (2) アルコールランプを使うときのアルコールの量は、次の⑤～⑦のうち、どれが正しいかな。記号で答えよう。

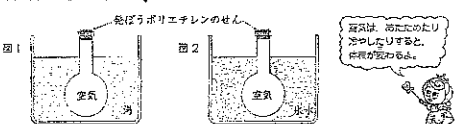


右の図を見て、次の問に答えよう。

- (1) 右の図は、何という加熱器具かな。(ガスバーナー)
- (2) 図の①は、それぞれ何を調節するねじかな。②(空気) ③(ガス)
- (3) (1)の器具に火をつけるとき、どのようにつけるかな。火をつけるときの順に番号をかこう。(3)ガス調節ねじで、ほのおの大きさを調節する。(1)元せんを開ける。(2)ガス調節ねじを少し開けて、火をつける。(4)空気調節ねじを開けていく。

考え方 ☆ガスバーナーには元せんがあり、空気とガスの2つの調節ねじがあります。アルコールランプやガスコンロよりふくぎつにできているので、安全を心がけましょう。

丸底フラスコにとじこめた空気をあたためたり、冷やしたりしました。図を見て、次の問に答えよう。



- (1) 図1で、せんはどうなるかな。正しいものに○をつけよう。(○)飛び出す。()変わらない。()中へ入っていく。
- (2) (1)のようになるのはどうしてかな。()にあてはまる言葉をかこう。あたためられて、空気の体積が【大きく】なつたから。
- (3) 図2で、せんはどうなるかな。正しいものに○をつけよう。()飛び出す。()変わらない。(○)中へ入っていく。
- (4) (3)のようになるのはどうしてかな。()にあてはまる言葉をかこう。冷やされて、空気の体積が【小さく】なつたから。

次の問に答えよう。また、()にあてはまる言葉を書きよう。

- (1) 空気を冷やすと、体積はどうなるかな。(1)【小さくなる。
- (2) 冷やして、せんが飛び出したのは、空気が【あたため】られたからである。(2)【あたため】
- (3) ふたをしたペットボトルをあたためると、(3)【ふくらむ】ようになるかな。(3)【ふくらむ】
- (4) ふたをしたペットボトルを氷水につけると、どうなるかな。(4)【しぼむ】

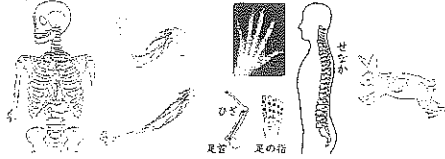
ポイント 空気は、あたためると体積が【大きく】小さくはなつていくが、冷やすと体積が【大きく】小さくはなつていく。空気の()は、温度によって【変化する。

考え方 ☆(1)丸底フラスコの中の空気の体積が、あたためられて大きくなり、せんをおし出します。(3)丸底フラスコの中の空気の体積が小さくなるため、せんは中へ入っていきます。

1 次の文()には、ヒトの体のほねについて説明しています。それぞれのほねの名前を書きなさい。

- (1) 肘や心臓などを守っている。(**むね**)のほね
- (2) 横に広がっていて、しせいをたもっている。(**こし**)のほね
- (3) やわらかい筋を守っている。(**くし**)のほね
- (4) 体をささえる中心になっている。(**せなか**)のほね

2 体の動くしくみについてまとめた。図を見て、次の()にあてはまる言葉を答えよう。同じ言葉をくり返して使ってもよい。



- (1) 体を動かすとき、ほねとほねのつなぎ目である(**関節**)で体を曲げている。
- (2) 体を動かすとき、ほねについている(**筋肉**)をちぢめたり、ゆるめたりしている。
- (3) 手や足やせなかには、(**関節**)がたくさんあるので、ものをつかんだり、歩いたり、体を丸めたりすることができる。
- (4) 重いものを持つたうとして、うでに力を入れるとき、筋肉は(**かた**)くなる。
- (5) ウサギなどのヒト以外の動物にも、ヒトと同じように、ほね、筋肉、**関節**があり、体を(**ささ**)えたり(**動か**)したりしている。

1 ほねは、体をささえたり、体のやわらかいところを守ったりするはたらきがあります。2 体を動かすとき、**関節**で体を曲げたり、**筋肉**をちぢめたりゆるめたりします。

1 秋の自然の様子についてまとめた。次の問いに答えよう。

- (1) 次の文の()にあてはまる言葉をかこう。
 - ① 夏とくらべると、空気の温度が(**低**)くなっている。
 - ② 生き物は、(**冬**)をこすじゅんびをする。
- (2) オオカマキリが秋にすることは、下の□の①～③のどれか。記号で答えよう。(**ア**)
 - ①果をつくる。 ②たまごを産む。 ③さなぎになる。
- (3) 秋のころのツバメの様子について、正しいものに○をつけよう。
 - ()果をつかってたまごを産む。
 - (**○**)南の国にわたって行く。
 - ()山の高いところへ巣をうつす。

2 次の①～③は、ヘチマとヒョウタンの秋の様子を説明した文です。下の①～③にあてはまるものに分けて、2つずつ記号で答えよう。

- ① たねの色は黒色である。
 - ② たねの色は白色である。
 - ③ 1つの実の中に、たくさんたねが入っている。
 - ④ 実がじゅくすころには、くきや葉が茶色になって、くきのびが止まる。
 - ⑤ 実には、真ん中がくびれた形をしている。
 - ⑥ 実には、細長い形をしていて、くびれていない。
- ① ヘチマの秋の様子 (**ア**), (**カ**)
 - ② ヒョウタンの秋の様子 (**キ**), (**ク**)
 - ③ ヘチマとヒョウタンの秋の様子 (**ケ**), (**コ**)

1 (2)オオカマキリは、秋になるとたまごを産みます。2 秋になると、ヒョウタンの実はずつと茶色に変化し、実の中にたねができてきます。

1 つつの中に空気と水を入れて、おしちぢめる実験をしました。次の問いに答えよう。

- (1) おしほうをおしていくと、①、②、③のようになるのは、①、②のどちらかな。(**ア**)
- (2) (1)から、空気と水の体積について、どんなことがわかるかな。正しいものに○をつけよう。
 - (**○**)空気の体積は小さくなるが、水の体積は変わらない。
 - ()水の体積は小さくなるが、空気の体積は変わらない。
 - ()空気も水も、体積は変わらない。
- (3) ②のようにおしちぢめてから、おしている手を放すと、おしほうはどうなるかな。正しいほうに○をつけよう。
 - ()そのまま動かない。(**○**)もとの位置にもどる。
- (4) この実験から、どんなことがわかるかな。次の文の()にあてはまる言葉をかこう。
 - (**空気**)は、おしちぢめることができるが、(**水**)は、おしちぢめることができない。

ちゅうしゃ器のピストンを引いてみよう。空気や水を入れたちゅうしゃ器のピストンを引くと、それぞれの体積はどうなるかな。次の①～③に、①～③の番号をかこう。



- ①(**①**)ふえる。
- ②(**②**)少しふえる。
- ③(**③**)変わらない。ピストンテープをまく。

1 とじこめた空気はおしちぢめることができますが、水はおしちぢめることはできません。空気はおしちぢめられて**体積**が小さくなりますが、水の体積は**変わり**ません。

1 実験が終わった後のことについてまとめた。()にあてはまる言葉を書きなさい。

- (1) (**ガラス**)器具は、実験が終わったら、すぐにあらう。よごれが落ちないときは、せんざいなどであらう。
- (2) あらった器具は、口を(**下**)向きにして、かごでかわかす。
- 2 加熱器具を使って実験をした後、安全に火を消す方法についてまとめた。()にあてはまる言葉を下の□から読んで答えよう。同じ言葉をくり返して使ってもよい。

(1) 実験用ガスコンロの火を消すとき

- ① 調節つまみを「(**消**)」まで回す。
- ② 火を消したら(**ガス**)ボンベを外しておく。

(2) アルコールランプの火を消すとき

- ① (**ななめ**)上から、すばやくふたをして、火を消す。
- ② 火が消えたら一度(**ふた**)をとり、冷えてからふたをし直す。

(3) ガスバーナーの火を消すとき

- ① (**空気**)調節ねじをしめる。
- ② (**ガス**)調節ねじをしめる。
- ③ (**コック**)をとじる。
- ④ (**元せん**)をとじる。

真	ななめ	消	火	ふた
ガス	元せん	コック	空気	

2 (1)ガスコンロは調節つまみで、(2)アルコールランプはふたをして、(3)ガスバーナーは調節ねじ、コック、元せんをとじて火を消します。

